「希望の聖地・飯舘」フォーラム

10月3日、『未来が始まる東北 TOHOKU WAY「生命繋ぐ 希望の聖地・飯舘」フォーラム』（同実行委員会主催）が交流センター「ふれ愛館」で開催され、講演の他、村で活躍する村民や事業者によるパネルディスカッションが行われました。また、立村70周年を記念して飯舘村讃歌「いのち つなぐ」が村に寄贈され、その合唱も行われました。参加者は「村の自然や魅力を改めて感じた」「地域のつながりを一層大切にしたい」と感想を寄せていました。



立村70周年を彩る生花の寄贈

飯舘村職員の退職者でつくる『睦会（むつみかい）』から、立村70周年を祝うフラワースタンドの寄贈がありました。9月29日、オレンジとピンクを貴重にした華やかなフラワースタンドが玄関ホールに飾られました。三瓶政美会長（大久保・外内）、髙橋世津子副会長（草野）、阿部久夫副会長（宮内）が来庁し、「震災という困難を乗り越えて今ここに村があります。村民の皆さんにも見ていただき70周年の節目を祝いたい」と思いを述べました。



飯樋町行政区防災訓練

10月11日、飯舘村地域防災センターを会場に、飯樋町行政区主催の防災訓練が行われました。今年で3回目の開催です。今回は、起震車による地震体験や水消火器を使用した初期消火訓練、地震対策についての講話などが行われました。

当日は、33人の住民に加え、地区の消防団も参加。地震体験では、震度ごとの揺れを体験し、地震の怖さや備えの大切さを学びました。また、防災食の試食を兼ねた昼食会が開かれ、住民同士が交流し、つながりを深めました。









村と只見の米を使った米焼酎

只見町を拠点とする酒造会社「合同会社ねっか」が、飯舘村振興公社が生産した「里山のつぶ」と只見町産の米を使用した米焼酎「MADEI de nekka」を製造。完成品を携え、10月7日、飯舘村を訪問しました。

同社は「地域の田園風景を守り、次世代につないでいく」ことを理念としており、代表の脇坂斉弘さんは「飯舘村の田園が今後も続いていくためのお手伝いができれば」と思いを語りました。

「MADEI de nekka」は、今後、宿泊体験館きこりで販売されます。初年の今年は生産量が限られているため、100本限定の販売となります。





第７回までいなマルシェ

9月26日、いいたて村の道の駅までい館で、生産者の会主催の「第7回までいなマルシェ」が開催されました。

会場には村内産の農産物や加工品がずらりと並んだ他、ハンドメイド雑貨の販売やキッチンカーの出店も。シンガーソングライターやバンドによるステージイベントも行われ、大勢の人でにぎわいました。また、スタンプラリーも実施され、家族連れなどがブースを巡って、交流も楽しんでいました。



秋の全国交通安全運動



9月21日から30日までの10日間、「秋の全国交通安全運動」が実施されました。この運動は、交通安全思想の普及や交通ルールの遵守を図り、交通事故のない社会を目指すもので、9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」とされています。村ではこの期間に、飯舘村交通指導隊（渡邊芳孝隊長／飯樋町）が立哨活動を行い、交通安全を呼びかけました。私達も一人ひとりが交通ルールやマナーを守り、交通事故防止を心がけましょう。